

市長マニフェスト基本政策の取組内容報告書(平成26年10月末現在)

政策	私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H26.10.31時点)	担当課
1 元気なまちの担い手である「人財」育成をさらに進めます。	トヨタ自動車の人材育成施設の誘致で再認識したことは、多治見が虎渓山永保寺や神言修道院のように人を育ててきたまちということです。特に、市全体で総合的な人材育成・ことも政策を進めます。	① 引き続き中学校3年生での30人程度の学級編制を継続します。	①7人の市費非常勤講師を配置。 ・陶都中学校2名(数学・英語) ・多治見中学校2名(数学・保健体育) ・南ヶ丘中学校1名(保健体育) ・北陵中学校2名(英語・社会)	教育推進課
		② 幼稚園・保育園・小学校・中学校で「脳トレ」、新たに「体カトレ」に取り組みます。	①「脳活」については、iPad整備計画に基づき園・学校へiPadを配備し、今年度で配備計画の第一段階が完了。(西ロータリークラブから8台の寄贈)各学校の「脳活学習」「スキルアップ学習」の実践の様子を共有し、更なる充実を図った。 ②「体トレ」については、第1回実施のスポーツテストの結果を受け、各小学校において健康体力アッププランを作成し、学校ごとに健康体力の向上を図った。 《平成23年度の全国平均との比較で全国平均を上回った種目数》(小学校:1学年8種目×6学年=48種目 中学校:1学年9種目×3学年=27種目) 小学校男子48種目中12種目、中学校男子27種目中4種目 小学校女子48種目中13種目、中学校女子27種目中5種目	教育研究所
		③ 障がいを持った子どもたちの支援を進めます。	①37人のキキョウスタッフ(支援員)を配置。(小学校33人、中学校4人) ②各校1人ずつ合計21人のほほえみ相談員を配置。(小学校は臨時職員、中学校は嘱託職員) ③インクルーシブ教育推進委員会をこれまで2回開催。 (主な検討内容)障がいに応じた合理的配慮について / 多治見市教育フォーラム2014について / 多治見市版インクルーシブ教育推進の提言書について 多治見市版プロフィールブックについて / 発達障がいのある児童生徒に対する早期支援事業の経過報告 ④8月9日(土)に「多治見市教育フォーラム2014」を開催。551人の保護者・一般市民・教員が参加。 (テーマ:「インクルーシブ教育推進プラン ～みんなが伸びる みんなと伸びる 自立を支援する教育の推進～」)	教育推進課
		④ 様々な市民活動を担う「人財」育成を支援し、ネットワーク化を進めます。	【くらし人権課】 市民活動交流支援センターで市民活動を担う人財を育成、そのネットワーク化を推進。 ①次期指定管理者の公募方針決定。(学習館と図書館・子ども情報センターと一体で公募) ②新しい活動や新しい団体・人を発掘。(新規登録団体14団体、個人登録2人) ③人財育成のための研修実施。 ・NPO専門相談(毎月1回) ・パワーポイント講座(1回:参加者15人) ・会計事務講座(1回:参加者17人) ・フェイスブック講座(1回:参加者5人) ・行列のできる講座とチラシの作り方講座(1回:参加者55人) ④人財ネットワーク機能を活用し、活動団体同士の交流・連携を支援。 ・交流サロンぽるとカフェ(6回:参加者66人) ・協力団体コーディネート(11件) ・登録団体紹介冊子発刊(9月) 【文化スポーツ課】 指定管理者、体育協会と連携し、「人財」を育成し、「人財」を活用した事業を展開。 ①文化及び地域団体や市民との交流・連携事業を実施。 ・文化会館等で市民文化祭を開催。(開催:5、7、9月 参加団体126、出演者2,219人、来場者5,946人) ・学習館、各公民館でオープンキャンパスを実施。(前期実績:119講座 受講者 1,214人) ・各公民館で、地域団体と協働で文化祭や公民館まつりを実施。 ②アウトリーチ事業や体験講座を実施。 ・文化会館で、一流音楽家指導によるワークショップを開催。 ・学習館で子ども体験講座「たじみごっこ」を実施。(15講座 受講者225人) ・公民館で「ミュージックトレイン」を実施。(4公民館 合計 537人参加) ・保健センターの地区担当保健師と連携し、全公民館において健康に関する講座を実施。 ③スポーツ指導者の資質向上・登録増員事業を実施。 ・指導者の資質向上、増員を目的に、スポーツ指導者講習会を実施。(6月27日開催:参加者85人) ・認定指導者(現登録者108人)の育成を目的に、指導者養成講習会(体育協会)を開催。 ・スポーツ推進委員の資質向上を目的に、定例会(6回)や研修会(東濃2回)、各種軽スポーツ事業を実施。 ・体育協会加盟団体の組織育成及び選手強化を目的に、各種育成事業(10種目、11事業)を実施。 ・少年期スポーツ活動を通じて、次世代を担うリーダー育成を図るスポーツ少年団育成事業を実施。(スポーツ交流会、リーダー研修、体力テスト会等、14事業) ・地区担当保健師(笠原地区)と連携し市民体力テスト会を実施。(9月25日、参加者51人)	文化スポーツ課 くらし人権課
		⑤ 市職員の研修を充実させ、さらに政策立案能力を高めます。	①人財育成基本計画の見直しについては、若手職員によるWGにより素案作成、職員アンケートの結果を踏まえ、今年度中に策定予定。 ②5Sの推進・おもてなしの向上 ・部毎・フロア毎に5S、おもてなしの推進リーダーを各々指名し、チェックシートを用いて職場点検を実施。 ・リーダー会議で情報共有、改善策を検討。(おもてなしリーダー会議3回、5Sリーダー会議1回実施) ・リーダー向けの視察・研修を実施。(10月27日・アマゾン多治見フルフィルメントセンター・26名) ・電話応対研修 各部選抜職員による研修実施(6～10月・計4日・13名)、コンクール東濃地区大会に出場、地区大会優秀者2名が岐阜県大会(10月10日)に出場、明和工業との合同練習会を2回実施。 ・新入職員向け5S研修を実施。(5月23日・明和工業・28名) ③規律意識の向上 ・救急救命講習と併せ全職員に規律訓練実施(9～11月・計14回)、今年度から保育士・幼稚園教諭も受講。(園毎に個別実施) ・新入職員向け規律意識向上研修。(宿泊研修)(1～2月実施予定・22名) ・水防訓練参加者への規律訓練。(5月27日、29、6月8日・50名) ④内部講師の育成 ・電話応対研修で、昨年度県大会出場職員がオブザーバー参加し、コンクール出場を支援。 ・新規採用職員研修で、自治大学卒業職員が地方自治法に関する講義を実施。(4月2日・25名) ⑤政策実行力の向上 ・プレゼンテーション能力(説明力)向上に特化した研修を実施予定。(2月) ⑥その他 ・安全運転実技研修。(7月、9月、11月・計20回・60名) ・メンタルヘルス研修 管理職・監督職向けの「大人の発達障がい講演会(PHメンタルクリニック・姫井昭男先生)」実施予定(11月10日)、30～40代職員向けのメンタルヘルス研修(1次予防)を実施予定。(2月)	人事課

政策	私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H26.10.31時点)	担当課
2 元気なまちに不可欠な産業を育てます。	産業の振興は、多治見の元気にとって不可欠です。大切な地場産業の振興とともに、新たな企業の誘致、陶磁器を核とした観光の振興などに取り組みます。	① 山吹、旭ヶ丘テクノパークに続き、郊外での企業誘致を進めます。	①開発事業に関する協定書を5月28日付にて締結し、事業を開始。 ②地権者及び探掘業者との交渉を進め、用地に関する大筋の用途がついたと認識。現在、売買条件、境界等における詳細について折衝中。 ③一般競争入札により、測量・設計、環境調査(ともに7/14契約)を発注、用地交渉等と並行して業務を実施中。	企業誘致課
		② 日帰り観光で集客をはかります。	①JR名古屋駅や金山駅で行う岐阜県観光展、豊橋駅、岡崎駅、土岐プレミアムアウトレット等で、国際陶磁器フェスティバル美濃'14や美濃焼祭、たじみ茶碗まつり、陶の里フェスティバル等やきもの祭典を絡めた多治見市をPRし、観光客誘致。 ②名古屋市内約50万世帯に配布される名古屋リビング新聞、東海ウォーカー、その他の雑誌に多治見の情報を掲載し、観光客誘致。 ③PRセンターと連携し、毎月名古屋おもてなし武将隊イベントを実施、(榊華柳と連携し、本町オリベストリート周辺に風鈴飾りをするなどして観光客誘致。 ④大阪商談会(7月1日)、東京商談会(8月27日)に出向き、紅葉の時期に向けた多治見への旅行商品を造成し観光客誘致。 ⑤民間企業との連携、メディアを活用した多治見のPRによる観光客誘致。 ・東海ラジオ創立50周年記念事業に多治見の日が選定される(8月25日)。 ・観光大使鈴木ちなみさんのスタイルブック「chinami no ME!」(8月6日発売)を多治見市内で撮影。 ・ANAのセントレアー羽田空港の開航初便搭乗者に特製的美濃焼(幸兵衛窯さかつき)が記念品に選定される。 ・うちわをうながっぱ配布するなど、うながっぱをアツい時期に数多くメディアに登場させた。 ・榊ウェブクルーと連携し、多治見市観光アプリ「たじもぶらり」を開発し、両者で同時発表するなどし多治見をPR。	産業観光課
		③ 中国などアジアからの観光客の誘致に取り組みます。	①4月に韓国超富裕層向けの旅行コースとして、永保寺、幸兵衛窯や本町オリベストリート等を提案(韓国の旅客船沈没問題が発生したことが原因となり中止) ②中国メディアへのアプローチ、視察対応を実施。 ・中国メディア「悦遊Traveler(中国国内雑誌)」の取材に対して、幸兵衛窯を紹介し、岐阜県版の記事内で紹介 ・中国駐名古屋総領事が市長を表敬訪問。表敬後、多治見市美濃焼ミュージアムを学芸員の説明の下見学及び呈茶体験を実施 ・8月28日の東京で開催された「インバウンド商談会」に参加。東南アジアや東アジア関係のツアー商談を実施。市の魅力を紹介するとともにニーズを探る。結果、12月中旬ごろに中国関東省 深川市特別行政区環境関係職員が多治見市(市役所、三の倉センター、大畑センター等)を訪問予定。 ③引き続き昇竜道プロジェクトを活用したPR活動を継続。	産業観光課
		④ 環境産業としてのタイルや陶磁器の育成を支援します。	①全国タイル工業組合に対し、海外市場のタイル需要開拓を目指して、アメリカ・ネバダ州ラスベガスで開催(会期:4月29日～5月2日)されたタイル・石材の国際展示会「COVERINGS2014」への出展を支援。また、多治見輸出陶磁器完成協同組合に対して、韓国ソウル市の中心地COEXで開催された「2014インポート・グッズ・フェア」(会期:6月11日～6月16日)への出展を支援し、日本製品離れしつつある海外のバイヤー、特に今回は韓国の顧客に日本の陶磁器製品の売り込みを実施。 ②多治見市美濃焼タイル振興協議会は日本最大の建築建材関係のイベントである「建築・建材展2015」(会期:3月3日～3月6日)に「セラミックタイル美濃2015」と銘打った出展に対する支援を予定。また、美濃焼振興協会の東京ドームで開催される「テーブルウェア・フェスティバル2015」(会期:2月1日～2月9日)へ出展のため、10月末までに4回の出展者による検討会議を開催。 ③美濃焼の加飾技法を活用したブランド構築事業として、多治見陶磁器上絵加工工業協同組合、NPOたかた・おなだ、市之倉さかつき美術館で上絵付講座を開催中。 ④多治見市の市政アドバイザーの提案により、美濃焼とスイーツのコラボ商品を開発し国際陶磁器フェスティバル美濃'14会期中に販売。また、茶文化プロジェクトにおいては4市の産品によるセット商品の開発を食環境プロデューサー木村氏の監修のもと実施中。	産業観光課
		⑤ 意欲のある事業者・起業家を支援します。	①起業支援センター:6月19日及び10月16日の計2回入居審査会実施し、2回目の審査会にて新規2者の入居を決定。2月に3回目の審査会を実施予定。10月末時点、9室中8室入居中。 ②企業お見合い:10月24日開催。発注企業申込104社中74社、受注企業申込102社中94社により、241件の商談を実施。 ③「き」業展:1月30日・31日開催予定。出店者数118(139ブース)による展示・販売のほか、ビジネスセミナー、子ども工作教室等を実施確定。 ④創業支援セミナー:商工会議所、商工会、地元金融機関及びTMOと連携し、創業を志す人を対象としたセミナー(計8回)を1～3月に開催予定。	産業観光課
3 環境にやさしく、安全・安心なまちづくりを進めます。	40.9℃という日本最高気温で有名になりました。一方で、市民が安心して暮らせるために、高温対策を進めるとともに、医療の充実など安心して暮らせるまちづくりが必要です。	① 水と緑にあふれた市街地をつくります。	【環境課】 「暑さ対策日本一」を目指した温暖化対策事業に加え、太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及促進策を実施。 ①協定を締結した3箇所へ大規模太陽光発電設置補助を実施。 ②「ゴーヤのカーテンをつくろう！」事業として6月に市民向け6216ポット、公共施設3000ポットを配布。 ③太陽光発電等の率先導入として、公共施設の屋根貸し制度を実施。(三の倉センター129kw4月稼働、大畑センター200kw11月末完成) また、環境省補助を得て浄化センターに太陽光発電10kW、小水力発電3.7kWを整備中(26年度末完成)。 ④筑波大学等との連携協定による高気温対策研究の年次報告会を7月開催。観測調査を9月実施。 【道路河川課】 ①虎溪用水の導水工事 ・虎溪用水の導水工事の平成26年7月末に一部完成。平成27年3月末までに区画整理区域外の導水工事は完成予定。 ・環境水利権は、国土交通省との協議済み、平成27年9月末までに取得予定。 【緑化公園課】 ①中心市街地での植栽を実施 ・駅北庁舎について、屋上緑化工事と周辺緑化工事を実施中。12月完成予定。	道路河川課 緑化公園課 環境課
		② 新市民病院を建設し、医療の確保をします。	①脳神経外科及び循環器内科を充実させるため新たに常勤医が着任。 ②副院長兼脳神経センター長として常勤医が着任した脳神経外科には血管造影X線診断装置を購入。 ③当該機器を設置するために施設の一部を改修中。	保健センター
		③ 子どもの医療費は財政状況を見ながら拡充を目指します。	①平成26年4月1日から通院にかかる子ども医療費の助成対象を拡大。入・通院とも中学3年生までの助成を実施。	保険年金課
		④ 候補地の皆さんと協議しながら、新しい火葬場の建設を進めます。	地元の理解を得ながら、造成・建設工事に着工。 ①大藪第5町内火葬場対策委員会の開催。 ②第30区新火葬場対策委員会の開催。 ③9月造成工事、10月建設工事着手。 ④迫間川の整備等、周辺環境整備事業の実施。 ⑤貴重種の保護。 ⑥市建設検討委員会を開催。(5月、10月) ⑦愛称の公募の実施	環境課

政策		私の想いと政策の目的	具体的な政策内容	これまでの取り組み状況 (H26.10.31時点)	担当課
			⑤ 消防・防災の体制を強化し、災害に迅速な対応をします。	①平成27年度から3年間で取り組む消防団活性化計画について、現在、4月から消防団活性化委員会を6回開催し、主に消防団員の確保、地域との連携強化について検討中。 ②水槽付消防ポンプ自動車11月19日納車予定、高規格救急車11月26日納車予定、運搬車10月20日納車完了、小型動力ポンプ付積載車10月29日納車完了。 ③513件の口頭指導を実施し、救急事案に対する検証会を7回行った。またCPA事業99件の内、バイスタンダーCPR実施は54件で、実施率は54%。今後更なる向上を図る。	消防総務課 予防警防課 通信指令課
4	利便性の高い「多治見」をつくります。	中心部の渋滞解消は長年の課題です。また、駅周辺のまちづくりをどうするのかも大切です。特に駅の周辺のまちづくりは、行政のみではなく、市民の力が必要です。	① 県とともに国道248号線(市民病院周辺)の渋滞解消に努めます。	①事業完了(4月、第2駐車場前の右折車線延伸工事が完成)	道路河川課
			② 旧国道248号線(多治見インター出口～ピアゴ)の道路拡幅を4年間で完成させます。	①事業完了	道路河川課
			③ 駅南口周辺の民間のまちづくりを支援します。	①協議会をこれまで5回開催し、基本計画の平成26年度末完成に向けて複数のディベロッパーに施設規模や事業参画の聴き取り調査を実施するなど、具体性の高い計画を検討中。 また、全権利者と個別面談も実施。 ②11月4日～5日に協議会と関係職員の合同視察研修を実施予定。本市と人口規模や地形などが似ている兵庫県三田市・宝塚市・川西市、奈良県生駒市の市街地再開発事業をアドバイザーの解説付きで見学。 ③準備組合の運営体制を慎重に検討した結果、助成ではなく事務支援を行うことに決定。 ④平成26年度末に準備組合を設立予定。	区画整理課
			④ 駅北地区の公共施設を整備し、市民の利便性の向上とまちのにぎわいに寄与します。	①予定通り竣工の見込み。駅北庁舎は平成27年1月5日オープン予定、立体駐車場は12月15日オープン予定。 ②汚染土壌撤去、埋文調査は実施中。多目的広場基本設計は9月完了、10月から詳細設計実施中。工事実施はH27年度着手完成予定。 ③詳細設計はH26年度内に完了予定。工事は2号公園H27年度実施、1・3号公園は時期まち交事業としてH28年度実施。 ④予定通り10月発注済み。H27年度内の完成予定。	区画整理課
			⑤ 保健センターや市役所分庁舎の駅周辺整備について検討を進めます。	①駅北庁舎の平成27年1月5日のオープンに向け準備等を実施 ・駅北庁舎供用に伴う諸課題調整(済) ・広報10月・12月特集、HP等で市民周知 ・平成27年1月4日 竣工式開催	企画防災課
5	計画行政を進め、市民参加の市政運営を目指します。	行政に期待される役割は大きくなっていく一方で、必要なお金は十分ではありません。こういう時代は、計画に沿って政策を実行することが大切です。また、その計画を立てるときや実行するとき、多くの皆さんの参加も重要です。	① 一層の行政改革を行い、政策の優先順位を明確にします。	①第7次行政改革大綱の進捗管理を実施(7月～8月に各課ヒアリング終了) ②市有施設について ・5大プロジェクト建設終了後の市有施設管理体制について検討を実施。 ・「公共施設等総合管理計画」の策定方針を検討し、基礎データ等を準備中。	企画防災課
			② 政策の実行段階でも市民の皆さんが参加できるような仕組みを拡充します。	①8月に実施した市民意識調査の調査結果を第7次総合計画の策定に向けた討議課題集作成の基礎資料とする予定。 ②第7次総合計画策定では、地区懇談会・市民討議会において市民アンケートを実施済み。 ③第7次総合計画を市民と共に作成するための策定市民委員(公募)を12月1日まで募集中。	企画防災課
			③ 市民の委員会を組織し、『市民目線』で市の事業を見直す機会を設けます。	①平成27年1月以降に事業評価委員会の開始を予定しており、これまでの総括を行うとともに、第7次総合計画に係る討議課題集について議論していただく予定。 ②行政改革については、本年度の各事業の取組状況について報告を予定している。	企画防災課
			④ まちづくりなど多様な分野でNPOやボランティアが活躍できる仕組みを作ります。	「まちづくり活動補助事業」を推進し、多様な分野の市民活動団体が活躍できる機会を提供。 ①「多治見市まちづくり活動補助事業」補助金交付決定(ソフト8件、ハード1件) ②記者クラブへの情報提供やFMビビ等を利用して補助事業をPRし、事業の普及を図った。 ③26年度の補助事業報告会の際に、団体同士が交流・情報交換できる機会を設けるよう計画。 ④行政サービスとNPO等市民活動団体の協働実施に向けモデル事業を選定するため、25年度に実施した委託調査結果を基に関係課とヒアリングを実施中。	くらし人権課
			⑤ 議会との対話、議論を進め、市民の信託に応えます。	①市議全員協議会において、各プロジェクトの進行状況や政策等について説明し、意見を伺うこととしている。 ・5大プロジェクトの進捗状況について ・都市計画マスタープランの改訂等について ・核融合科学研究所安全監視委員会の設置について など	企画防災課